

令和6年度 第1回

水戸市内原市民センター運営審議会

日 時 令和6年6月18日(火)
午前10時00分～
場 所 内原市民センター会議室1

次 第

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議事

- (1)令和5年度内原市民センター利用状況について
- (2)令和6年度内原市民センター定期講座開設状況について
- (3)令和6年度内原市民センター運営方針及び重点目標(案)について
- (4)令和6年度内原市民センター事業計画(案)について
- (5)その他

4 閉 会

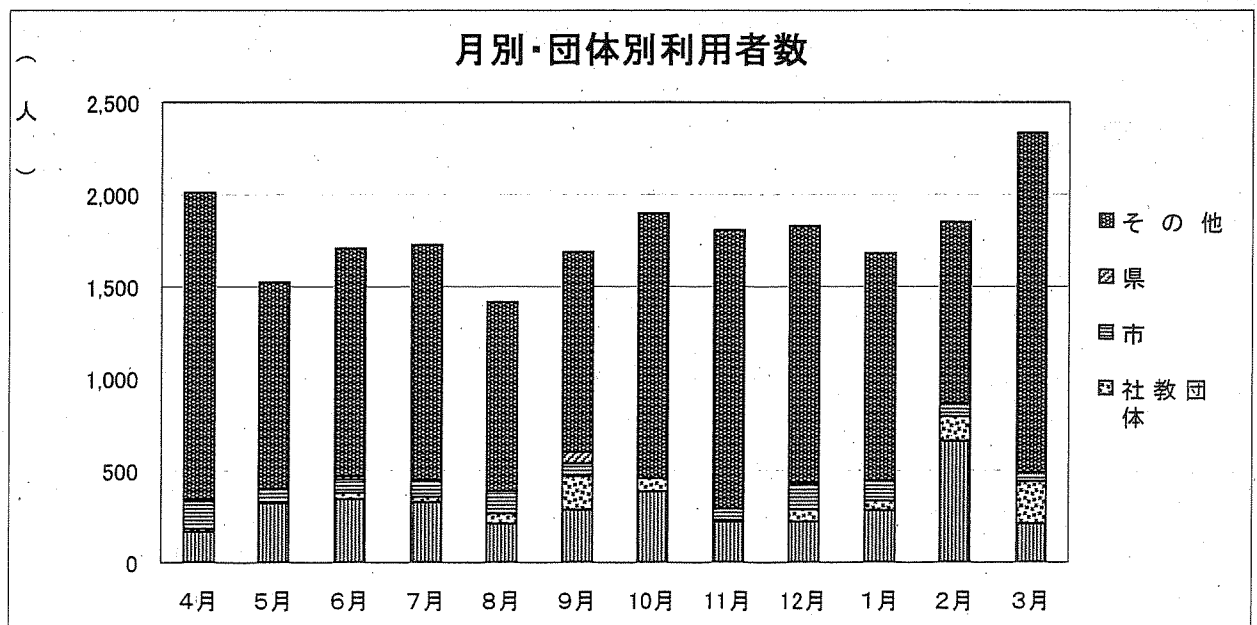
(1)令和5年度内原市民センター利用状況について

①団体別利用状況（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

	市民センター		社 教 団 体		市		県		そ の 他		合 計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
4月	18	168	1	16	5	147	1	14	132	1,667	157	2,012
5月	30	322	1	5	3	75	0	0	105	1,124	139	1,526
6月	33	345	2	35	4	71	1	19	119	1,238	159	1,708
7月	30	328	4	30	6	86	1	8	140	1,275	181	1,727
8月	20	211	7	55	4	123	0	0	100	1,028	131	1,417
9月	24	286	12	185	4	68	4	62	124	1,089	168	1,690
10月	29	386	7	72	0	0	0	0	141	1,440	177	1,898
11月	19	220	2	12	5	59	0	0	153	1,517	179	1,808
12月	20	221	4	67	7	134	3	14	121	1,395	155	1,831
1月	25	282	5	53	7	111	0	0	121	1,237	158	1,683
2月	24	661	8	133	4	73	0	0	103	985	139	1,852
3月	18	209	14	232	3	49	0	0	140	1,846	175	2,336
合 計	290	3,639	67	895	52	996	10	117	1,499	15,841	1,918	21,488
前年度	370	4,153	313	3,960	171	3,927	25	437	1,096	10,035	1,975	22,512

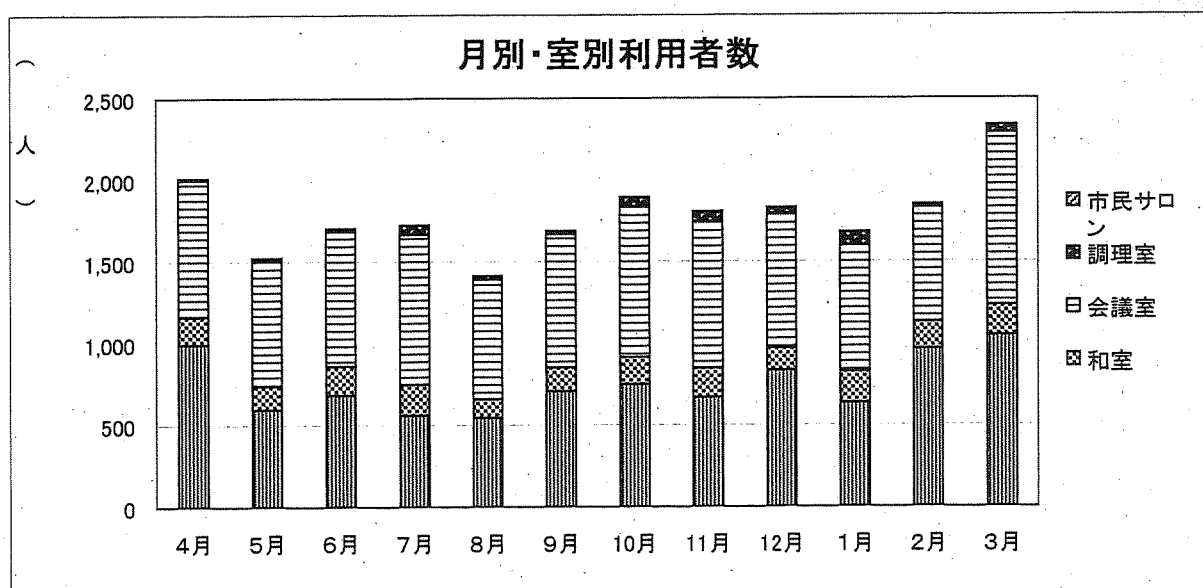
【団体区分】

- ・市民センター … 定期講座，女性教養講座，家庭教育強化事業，運営審議会，その他主催講座 等
- ・社教団体 … 子ども会，高齢者クラブ，PTA，スポーツ少年団，地区会 等
- ・市 … 水戸市関係部署
- ・県 … 茨城県関係部署
- ・その他 … 消防団，民生・児童委員，社会福祉協議会，保健推進員，防犯協会，サークル 等



②室別利用状況（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

	ホー ル		和 室		会 議 室		調 理 室		市民サロン		合 計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
4月	46	996	19	169	90	834	2	13	0	0	157	2,012
5月	34	597	17	144	85	762	3	23	0	0	139	1,526
6月	38	685	21	179	97	820	3	24	0	0	159	1,708
7月	36	561	22	190	117	915	6	61	0	0	181	1,727
8月	35	546	16	116	78	729	2	26	0	0	131	1,417
9月	43	709	19	147	102	811	4	23	0	0	168	1,690
10月	45	752	20	167	107	918	5	61	0	0	177	1,898
11月	36	671	27	181	109	897	7	59	0	0	179	1,808
12月	36	836	21	135	95	826	3	34	0	0	155	1,831
1月	35	636	26	192	91	770	6	85	0	0	158	1,683
2月	29	965	20	168	86	695	4	24	0	0	139	1,852
3月	42	1,048	23	187	107	1,051	3	50	0	0	175	2,336
合 計	455	9,002	251	1,975	1,164	10,028	48	483	0	0	1,918	21,488
前年度	457	10,099	278	2,107	1,192	9,962	48	344	0	0	1,975	22,512



③利用人数累計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
館 内	2,012	1,526	1,708	1,727	1,417	1,690	1,898	1,808	1,831	1,683	1,852	2,336	21,488
館 外	0	0	0	32	0	0	286	26	0	0	0	0	344
合 計	2,012	1,526	1,708	1,759	1,417	1,690	2,184	1,834	1,831	1,683	1,852	2,336	21,832

（参考）前年度利用人数累計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
館 内	1,980	2,047	2,295	1,699	1,147	1,805	2,010	1,855	1,848	1,481	1,713	2,632	22,512
館 外	0	0	21	30	0	0	133	0	162	95	0	0	441
合 計	1,980	2,047	2,316	1,729	1,147	1,805	2,143	1,855	2,010	1,576	1,713	2,632	22,953

(2)令和6年度内原市民センター定期講座開設状況について

ア 教室（初心者対象）

教室名	開催日	時 間	定員 (人)	募集人 数(人)	年会費 (円)	講師名	開講日	受講者 数(人)
ケーナ	第1・3 (金)	10:00 ～11:30	12	12	4,200	中崎 恵幸	5/17	7
ストレッチ	第2・4 (木)	10:00 ～11:00	30	30	4,000	鈴木 直昭	5/9	31
子ども絵画 (小学生対象)	第2 (土)	10:00 ～11:30	10	10	4,000	佐々木弥生	5/11	10

イ クラブ（自主運営・初心者可）

クラブ名	開催日	時 間	定員 (人)	募集人 数(人)	年会費 (円)	講師名	開講日	受講者 数(人)
ピラティス (ヒト・ピラティス)	第1・3 (月)	13:30 ～14:30	15	1	10,000	國井 仁美	5/13	15
料理A (料理教室)	第2 (月)	9:30 ～12:30	16	6	14,000	佐藤 光恵	5/13	13
ヨガA (ドリームヨガ)	第1・3 (火)	10:00 ～11:30	30	10	5,000	浅野るみ子	5/21	25
書 道 (書道クラブ)	第1・3 (火)	13:30 ～15:00	13	2	12,000	綿引のぶ子	5/7	13
塗り絵 (大人の塗り絵サークル)	第2・4 (木)	10:00 ～12:00	15	3	12,000	岩渕 幸子	5/9	12
アートフラワー (アートフラワー研究会)	第2(金) 第4(土)	13:30 ～15:30	12	0	12,000	桑名真佐子	5/10	11
ビーズアクセサリー (ビーズアクセサリー研究会)	第3 (土)	10:00 ～12:00	13	3	7,700	山口とも子	5/18	10
料理B (男の料理)	5・9・11・1・3月 第3(日)	9:30 ～13:30	13	6	8,000	佐藤 光恵	5/19	8

※ 8月は休講になる講座があります。また、開催日が祝日や地域行事等により変更となる場合があります。

(3)令和6年度内原市民センター運営方針及び重点目標（案）について

運 営 方 針

近年、人口減少社会や超高齢社会の到来をはじめ、都市化の進展、価値観の多様化、生活圏の拡大など、市民を取り巻く状況は大きく変化している。

こうした状況にあっても、市民が安心して暮らし、幸せを感じられる豊かな地域を形成していくためには、今後ますます地域コミュニティ活動と生涯学習活動の推進が必要となる。

市民センターにおいては、地域コミュニティ活動の拠点として、その継続や発展に向けた支援に努めるとともに、生涯学習活動の拠点として、その充実や成果を生かす環境づくりに努める。また、東日本大震災での経験や近年の台風大型化への警戒等を踏まえ、地域防災活動の拠点としての機能充実を図っていくものとする。

重 点 目 標

ア 地域コミュニティ活動の推進

(ア) 地域コミュニティ活動の活性化

- a 地域自らが地域の将来像や課題を共有し、特色のある地域づくりや課題の解決を進めることができるよう、内原地区コミュニティプランの実現に向けた取組への支援を促進し、内原地区自治連合会（以下「自治連」という。）を中心とした自主的な活動を推進する。
- b 各種コミュニティ団体等の活動を支援するとともに、NPO等との連携を促進しながら、よりよい地域づくりに向けた情報の共有化を進めるなど、地域コミュニティ推進体制の充実、連携強化を図る。
- c 自治会への参加意識や自治意識の高揚を図るため、地域団体や関係機関と連携強化を図り、自治連等における地域コミュニティ活動内容を積極的に発信するとともに、地区会の基盤である自治会の加入率の向上に努める。特に水戸市住みよいまちづくり推進協議会や自治連との協働により、「みと町内会・自治会カード」事業の更なる魅力の向上を図る。
- d 市民自らが意欲を持って地域活動に参加できるよう、一人一役運動を進めるほか、人材育成のための研修会を通して、地域を支えるリーダーづくりを推進する。

(イ) 地域コミュニティ活動環境の充実

市民センターにおける様々な活動環境の一層の充実に向け、施設の利用状況や地域の実情等にあわせたコミュニティルームの積極的な利用を促進するとともに、施設の利用者数や周辺の状況等を踏まえ、駐車場の確保に努める。

また、各市民センターのホームページの中で、地域情報を積極的に発信し、地域の魅力向上に努める。

(ウ) 地域防災活動との連携

災害発生時の初動対応については、地域における防災組織が重要な役割を担うものであることから、平常時より、自治連内に組織された防災対策会による防災訓練や研修会等に対する支援、地域における災害リスクや連絡体制の確認を行うなど、地域における防災組織との連携を図る。

イ 生涯学習活動の推進

(ア) 学習機会の充実

生涯学習活動の拠点施設である市民センターにおいては、どのような状況下でも学びを止めることなく、「個人の要望」する学習による生きがいを進めるとともに、家庭教育への支援や青少年の健全育成、少子・高齢化への対応などの「社会の要請」に応じた現代的課題を取り扱った学習機会を提供する。

そのため、水戸市における生涯学習事業を総称した「みと弘道館大学」に位置付けた、一般教養講座や定期講座を開催するとともに、みと好文カレッジにおける事業を活用しながら、市民のライフスタイルに定着し、生涯にわたって学び続けることができるよう、学習機会の充実に努める。

a 市民ニーズを捉えた学習機会の提供

市民の学習ニーズを把握し、健康で生きがいのある充実した人生を送ることができるよう、生涯学習のきっかけづくりを図るとともに、それぞれの世代に合った学習機会の提供に努める。

b 現代的課題を取り扱った講座の開催

変化の激しい社会情勢に対応していくため、成人学級、高齢者学級等の講座に現代的課題を取り扱ったテーマを組み入れるなどの手法により、地域課題を主体的に捉える学習機会の充実に努める。特に、デジタル・ディバイド解消のため、高齢者等に向けたICTリテラシーを身につける講座の充実に努める。

また、地域団体と市民センターが一体となった協働事業を積極的に展開する。

c 家庭教育や子育てを支援する講座等の開催

家庭は、子どもが基本的な生活習慣、生活能力、人に対する信頼感、豊かな情操、思いやりや善悪の判断、自立心や自制心、社会的なマナーなどを身につける上で重要な役割があることから、家庭教育について考える機会を提供するため、学校等における家庭教育学級や家庭教育講演会を開催する。

また、未就園児の保護者が家庭教育について学び、各家庭が家庭教育に自主的に取り組むことができるよう支援するため、家庭教育強化事業を実施する。

(イ) 学習の成果を生かす環境づくり

生涯学習の成果がボランティア活動や地域づくりに生かせるよう、地域人材の発掘・育成を行い、地域の活性化や特色あるまちづくりに生かしていくための環境づくりを進める。

a 地域資源の活用推進

市内には、歴史的な資産や史跡をはじめ博物館、歴史館などの文化施設、学校や大学などの物的資源やそれぞれの施設に所属する職員などの人的資源があり、豊かな地域資源に恵まれている。このような地域にある資源を活用した事業を開催するとともに、生涯学習の振興に取り組む機関や団体との連携を図りながら、地域資源の有効活用を推進する。

b 学習の成果を発表する場の創出

市民センターを会場に開催している講座の展示会や発表会など、生涯学習の成果を発表する場を創出することにより、学習者同士や参加者との交流を拡大させ、新たなネットワーク構築に努める。

c 学習の成果を地域活動に生かす仕組みづくり

生涯学習の成果をボランティア活動や地域活動に生かすことが、地域の活性化に大いに役立つものと期待されている。市民センターで学んだ市民が、その成果を地域コミュニティ活動につなげられるよう、人材の育成と活用に努める。

d 事業評価に基づく事業の推進

市民センターの講座や事業に参加した市民が日常生活の中で生涯学習の成果をどのように生かし、また、地域の中でどれだけ活動に関わっているのかなど、事業の成果を検証することが求められている。

市民センターにおいては、実施した講座や事業について自己評価を行うとともに、自己評価をもとに、運営審議会等第三者機関による検証を行い、効果的な事業運営を図る。

(ウ) 家庭・地域・学校の連携の強化

家庭・地域・学校が目標や課題を共有し、それぞれが連携して対応策について取り組む体制を構築し、地域社会全体の教育力の向上を図ることができるよう、市民センターにおいては、それぞれをつなぎ結ぶ地域拠点施設としての機能充実に努める。

a 次代を担う子どもたちの「生きる力」を育む

地域、学校と連携を図りながら、様々な形で異なる世代での交流や大人と接する事業など、子どもたちが地域活動に参加する場を提供し、地域社会全体で次代を担う子どもたちの「生きる力」を育む活動の推進に努める。

b 社会全体で支える家庭教育

子どもたちが健全に成長していくためには、良好な家庭環境や社会環境を整える必要がある。そのために、家庭の教育力の向上だけでなく、地域の人的資源を子育て支援事業や学校活動支援事業に活用し、家庭教育を地域社会全体で支える仕組みづくりに努める。

(4)令和6年度内原市民センター事業計画(案)について

ア 地域コミュニティ活動の支援

地域コミュニティ活動の中核を担う内原地区自治連合会や、水戸市社会福祉協議会内原支部等の活動を支援するとともに、市民スポーツ大会や地区防災訓練など、地域における主要な事業を関係団体と連携・協力しながら開催し、地域コミュニティ活動の推進に努める。

《内原地区自治連合会における主な事業》

- ・ふれあいハイク(歩く会)の開催
- ・内原地区市民スポーツ大会の開催
- ・クリーン作戦の実施
- ・花壇コンクールの実施
- ・AED講習会の開催
- ・ふれあいまつりの運営支援
- ・広報紙「はばたく うちらは」の発行

《水戸市社会福祉協議会内原支部における主な事業》

- ・「おしゃべりサロンかたくり会」の開催
- ・「スクエアステップうちらは」の開催
- ・「うちっこ広場」の開催
- ・「内原地区福寿のつどい」の開催
- ・高齢者スポーツ大会の開催
- ・共同募金 歳末たすけあい募金活動
- ・役員研修会の開催
- ・広報紙「福祉うちらは」の発行

イ 生涯学習活動の推進

内原地区における生涯学習活動の拠点として、市民センターにおいて地域の特性を踏まえた定期講座を開催するとともに、家庭教育講座や青少年教育講座など、一般教養講座を開催し、地域の生涯学習活動の推進に努める。

(ア) 定期講座の開催

a 教室

昨年度に引き続き、ケーナ、ストレッチ及び子ども絵画の3教室を開催する。

b クラブ

ピラティスのほか、料理A・B、ヨガA、書道、塗り絵、アートフラワー、ビーズアクセサリーの全8クラブを継続して開催する。

(イ) 一般教養講座の開催

a 家庭教育講座

(a) 家庭教育学級

親子のふれあいやコミュニケーションを通して、子どもたちの豊かな人間性を育むとともに、保護者間の交流を深めることを目的に、内原認定こども園及び内原小学校において実施する。

〔内原認定こども園〕

期 日	内 容	場 所	備 考 (講師等)
未 定	未 定	内原認定 こども園	

〔内原小学校〕

期 日	内 容	場 所	備 考 (講師等)
9 月 19 日 (木)	開級式及び学校長講話等	内原小学校	内原小学校 長ほか
11 月 20 日 (月)	親子での運動 (3 B 体操)	内原小学校	小高 淳子 ほか

(b) 家庭教育講演会

より多くの保護者に働きかけ、家庭教育について考える機会を提供する。

期 日	内 容	場 所	備 考 (講師等)
未 定	未 定	未 定	

(c) 家庭教育強化事業

子どもの発達を促す適切な接し方や、親子のふれあい体験を通じ子どもとのふれあいの重要性について学ぶとともに、保護者同士の交流や情報共有の場を設けることを目的に実施する。

期 日	内 容	場 所	備 考 (講師等)
10 月予定	未 定	内原市民 センター	
12 月予定	クリスマス会	内原市民 センター	
未 定	未 定	内原市民 センター	

b 青少年教育講座

(a) 夏冬休み子ども教室

長期休暇を利用し、絵画や書き初めを実施する。

期 日	内 容	場 所	備 考 (講師等)
8月5日(月)	絵画教室	内原市民 センター	佐々木 弥生
12月予定	書き初め教室	内原市民 センター	

c 女性教養講座

女性セミナー講座

2講座を開催するほか、移動学習を実施し、講座を通して知識・教養を深めるとともに、受講生相互の交流を促進する。

期 日	内 容	場 所	備 考 (講師等)
7月30日(火)	「キャッシュレス時代を生きるために」	内原市民 センター	消費生活 センター
11月予定	クリスマスリースづくり	内原市民 センター	
2月予定	移動学習	未 定	

d 高齢者教育講座

(a) 内原寿大学

高齢者を対象に、健康の維持・増進や生きがいづくりに資するとともに、参加者相互の交流を促進し親睦を深めることを目的とし、落語の公演や移動学習等を開催する。

期 日	内 容	場 所	備 考 (講師等)
6月28日(金)	落語公演(演目:未定)	内原市民 センター	川崎 賢一
9月5日(木)	移動学習	未 定	
未 定	未 定	内原市民 センター	

(b) スマホ体験講座

市民の誰もがデジタル社会に取り残されず、デジタル技術の恩恵を享受し、生活をより便利で豊かにすることに寄与することを目的に、概ね 60 歳以上の方を対象に実施する。

期 日	内 容	場 所	備 考 (講師等)
10 月 予 定	シニア向けスマホ体験講座 対象者：概ね 60 歳以上の方	内原市民 センター	スマートフォン アドバイザー

e 成人教育講座

味噌づくり講座

受講生に好評な味噌づくり講座を継続して実施し、味噌の作り方を学ぶ。

期 日	内 容	場 所	備 考 (講師等)
1 月 24 日 (金)	味噌づくり講座	内原市民 センター	秋葉 節夫

f 市民センターまつり

文化祭・発表会

定期講座や当市民センターで活動する各種サークルの成果発表の場として市民センター文化祭や発表会を開催し、受講者等の学習意欲の向上を図るとともに、地域交流の促進に努める。

期 日	内 容	場 所	備 考 (講師等)
11 月 29 日 (金) ～12 月 1 日 (日)	文化祭 ・作品展示の部・市民囲碁大会等	内原市民 センター	
2 月 9 日 (日)	発表会 ・成果発表の部	内原市民 センター	

ウ 子育て支援事業等への協力

子育て中の親子が気軽に集い交流し合う「子育て広場」に対し、運営の支援・協力をするほか、市民サロンを「市民センターこどもスペース」として、小学生を対象に開放する。

(ア) 子育て広場

- ・開催日 毎月第 1・3 月曜日 午前 10 時～午前 11 時 40 分
- ・開催場所 内原市民センター ホール・和室 1
- ・対象者 0 歳～就学前の幼児及びその保護者
- ・運営団体 内原子育て支援の会

(イ) こどもスペース

- ・開 催 日 毎週火曜日・木曜日 午後3時～午後5時
- ・開催場所 内原市民センター 市民サロン
- ・対 象 者 小学生
- ・内 容 受付簿に氏名等を記載し、各自勉強や読書、遊びなど自由に利用

エ 地域学校協働活動

(ア) 地域学校協働活動とは

幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動です。地域学校協働活動の推進により、それぞれの地域の未来を担う子供たちが、地域の方々に見守られ、支えられながら、豊かな学びや体験の機会を得て健やかに成長していくことは、地域に愛着を持ち、地域に貢献したいと考える人材の育成にもつながります。

(イ) 地域学校協働活動推進員とは

学校の事情や地域の要望を十分理解し、地域と学校がパートナーとして協働することができるよう、地域住民と学校との情報共有や、地域住民等への助言など地域と学校をつなぎ結ぶコーディネーターの役割があります。

(ウ) 水戸市版地域学校協働活動とは

本市には地域コミュニティ活動の拠点施設として34の市民センター（1小学校区に1市民センター）があり、家庭・地域・学校をつなぎ結ぶ地域拠点施設としての機能も有しています。そのため、各市民センター所長に地域学校協働活動推進員として、地域と学校をつなぎ結ぶコーディネーターの機能を持たせます。

(エ) 水戸市版地域学校協働活動の事業目的

地域全体で地域の学校や子供たちを支援します。併せて、生涯学習の一環であるボランティア活動をとおして、地域住民同士つながりあい、地域が活性化することを目指します。

(オ) 地域学校協働活動推進員としての所長の役割

各校の学校運営協議会で協議された課題や提案等を受けて、所長はその情報を地域と共有し、「学校が求めること」と「地域ができること」を調整したうえで、地域の参画を得て学校の支援に当たります。

水戸市内原市民センター運営審議会委員名簿

任期 令和5年4月 1日～令和7年3月31日

職	ふりがな 氏 名	選 出 区 分	団体等名及び役職名	備 考
委員	くぼた くにお 久保田 圀男	市民活動団体	内原地区自警団グリーン パトロール隊 隊長	
委員	いわき あつこ 岩 木 厚 子	社会教育関係者	内原市民センター 洋裁サークル指導者	
委員	さるや ゆうこ 猿 谷 裕 子	社会教育関係者	内原市民センター 太極拳サークル指導者	
委員	ほりえ きよひこ 堀 江 清 彦	市民活動団体	内原地区自治連合会 会長	
委員	とびた しずこ 飛 田 静 子	学識経験者	水戸市社会福祉協議会 内原支部 副支部長	
委員	はしもと のりこ 橋 本 典 子	学校教育関係者	水戸市立内原小学校 校長	

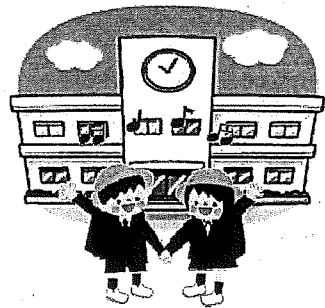
水戸市内原市民センター職員名簿

職	ふりがな 氏 名	在職年数	主 な 担 当 事 務
所長	せき ふみお 関 文 男	0年2か月	・市民センター運営審議会に関すること ・施設の管理運営に関すること ・地区会事業の支援に関すること
職員	たかまる こういち 高 丸 幸 一	1年2か月	・定期講座（教室・クラブ）に関すること ・生涯学習サポーター協働事業に関すること ・庶務に関すること
職員	ともべ ゆみこ 友 部 由 美 子	1年2か月	・高齢者教育講座に関すること ・成人教育講座に関すること ・地域学校協働活動に関すること ・経理に関すること
職員	まえしま あきこ 前 嶋 亜 希 子	0年2か月	・家庭教育講座に関すること ・青少年教育講座に関すること ・女性教養講座に関すること ・子育て支援事業に関すること

水戸市版地域学校協働活動



学校



(校内担当者)

連携・協働

学校運営協議会で協議された課題や提案等を、市民センターに伝達。

支援ニーズ

学校支援活動

地域の参画を得て学校を支援。

【市民センター
コーディネーターの役割】
学校運営協議会で協議された課題や提案等を地域と共有し、支援体制を構築。



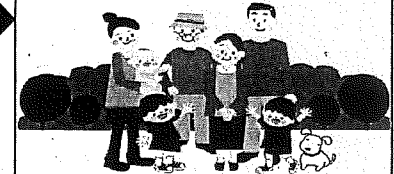
(所長)

参画

依頼

地域

自治会、女性会、
高齢者クラブ、
PTA、子ども会、
社会教育団体、
文化団体、企業、
スポーツ団体、
青少年育成会等



(地域住民)

令和6年度 内原寿大学

落語公演のお知らせ

「笑う門には福来たる」「笑いは百薬の長」という古くからのことわざにもあるとおり、笑うことは心や身体に大変良いとされています。免疫力アップやストレス撃退など、たくさんの科学的効果が報告されています。

内原寿大学の落語で、大笑いしてみませんか？

ご友人等お誘いあわせの上、是非、ご参加ください。

☺ 日 時 令和6年6月28日(金) 10:00~11:30

☺ 会 場 内原市民センター ホール

☺ 演 者 川崎 賢一

☺ 対 象 概ね60歳以上の方

☺ 定 員 30名程度

☺ 参 加 費 無 料

☺ 申込方法 内原市民センターの窓口で直接
または お電話でお申し込みください

☺ 応募期間 6月13日(木)~6月19日(水)
9:00~17:00 (土日を除く)

☺ 問合せ先 内原市民センター

TEL 029-259-4044

